

令和6年度
事業計画書

グループホーム 草原の風
共同生活援助事業所

目 次

1.	はじめに1
2.	施設理念1
3.	運営目標1
4.	支援項目2
5.	行事・研修・会議予定3

令和6年度 草原の風 事業計画

1 はじめに

グループホームを利用される方が一人の尊厳ある個人として本人のニーズに沿ったサービスの提供、満足が得られるように努めます。また、法人内のグループホームと連携し利用者の生活、就労等を考慮し支援に取り組みます。入居者の高齢化に伴う身体機能の低下や障がいの重度化、病状の悪化等が見られる事から病院や行政関係機関と密に連携を取り、本人の住み慣れた環境で今後も安心して生活が出来るよう介護保険等の利用も踏まえ支援に努めます。

また、事業継続計画（自然災害、感染症対策）の実施年度に伴い、職員及び利用者に対して周知徹底を図ってまいります。

2 施設理念

生命の尊厳	利用者一人ひとりを、かけがえのない存在として大切にします。
利用者主体	利用者の個性を重んじ、主体性・可能性を尊びます。
人権尊重	利用者に対するいかなる差別・虐待・人権侵害も許さず、人としての権利を尊重します。
社会参加	利用者が一市民として、社会生活できるように支援します。
働く喜び	利用者が生産を通じて勤労の喜びを実感できるよう支援します。
経営の効率化	利用者の安定した生活が継続できるよう、効率的な経営を目指します。

3 運営目標

- ・ 定員充足と経営の安定化
- ・ 利用者支援の強化
- ・ 職員・スタッフのスキルアップ
- ・ 行政及び関係機関との連携
- ・ 防災・非常時におけるマニュアルの再確認（事業継続計画の周知徹底）

4 支援項目

(1) 支援の強化

- ・感染予防対策・健康管理

- ① 手洗いやうがい、検温、マスクの着用のこまめな声掛けを行う。
- ② 体調不良者に関しては居室にて待機し、必要に応じて早急な病院受診を行う。
- ③ 不要不急の外出を極力なくし、状況に応じた対策を行う。
- ④ 市町村が実施している住民健診の受診や事業所が行う健康診断への参加の声掛け、支援を行う。
- ⑤ 清潔かつ季節に応じた服装の着用の声掛け支援を行う。

- ・各事業所、関係機関との連携

- ① 同法人のグループホームや相談支援事業所と連携を図り、利用者の状況に合わせた支援を継続できるよう努める。
- ② 日中事業のインターワークとの連絡を密にし、情報共有に努める。

- ・相談、傾聴

利用者の状況、ニーズなどを的確に把握するため、相談を密にして行き個々のニーズに合ったサービスが提供できるように支援を行う。また、相談のしやすい環境の構築を行っていく。

(2) 金銭管理・買い物支援

- ・利用者本人と残高確認を行いながら収支状況に応じて月々必要な金額の出し入れ、管理をしていく。また、買い物支援に関しては、支援日（月 1 回）を決め、利用者と共に必要な日用品や衣服等の買い物、金銭の使い方の支援を行う。

(3) 日常生活上の支援

- ・規則正しい生活を心掛け、定期的な居室の清掃、片付け、整理整頓、掃除、入浴、洗濯等ができるよう職員と共に行っていく。

(4) 食事の提供

- ・家庭的なメニューに加え利用者の嗜好に合わせ、健康を考慮した食事提供を行う。また、利用者の状態に合わせた（刻み、お粥、カロリー、弁当等）提供に取り組む。

(5) 緊急時における対応方法及び非常災害対策

- ・利用者の病状の確認を行い、緊急を要する場合は、速やかに医療機関への連絡・受診を行う。また、災害、感染に備えた備品、備蓄の整備と定期的な機材の点検を行った上で、緊急連絡網にて職員に周知し、避難、救出その他必要な実践的な訓練を行う。

5 行事・研修・会議予定

- ・行事・研修に関しては日中事業と連携を図り、取り組んでいく。

	行事（メニュー）	研修・会議	
4月	お花見	職員会議・世話人会議	
5月		職員会議・世話人会議	虐待防止
6月		職員会議・世話人会議	
7月	そうめん流し	職員会議・世話人会議	身体拘束
8月	バーベキュー	職員会議・世話人会議	
9月		職員会議・世話人会議	災害訓練
10月	秋刀魚炭火焼	職員会議・世話人会議	
11月		職員会議・世話人会議	
12月	クリスマス・忘年会	職員会議・世話人会議	虐待防止
1月	おせち料理・初詣	職員会議・世話人会議	
2月	恵方巻	職員会議・世話人会議	身体拘束
3月	食事会	職員会議・世話人会議	火災訓練

※毎月 買い物支援

※都度 担当者会議